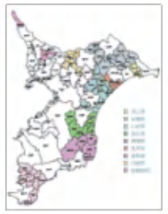


隊友千葉だより

【 事務所　開所時間】
原則として月・水・金　1000～1500
（ 月・ 水: 土屋　金: 内田）

平成２５年３月号　千葉県隊友会事務局

〒260-0042　千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階　電話 043-306-2095　FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp　ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

入隊予定者激励会・音楽会

３月９日(土)、青葉の森公園芸術文化ホール（千葉市中央区）において、自衛隊父兄会千葉県支部連合会（会長　渡邊　昭氏、実行委員長）、県隊友会、県自衛隊協力会連合会及び県自衛隊援護協力会が共催、千葉地本が実行部隊となって行われ若人の入隊を祝った。。会には、この春、千葉県から入隊・入校する約４００人のうち２３２人が参加した。今回は、司会（横洲かおるさん）により、入隊者一人一人が紹介され、拍手を受けた。県から会長始め、朝日・若梅・中尾・鬼島・増山の各支部長他、会員が出席し、入隊者を激励した。音楽会は、空挺団（空神士魂太鼓）及び東方音楽隊による演奏が行われた。

会長、入隊者代表へ記念品贈呈

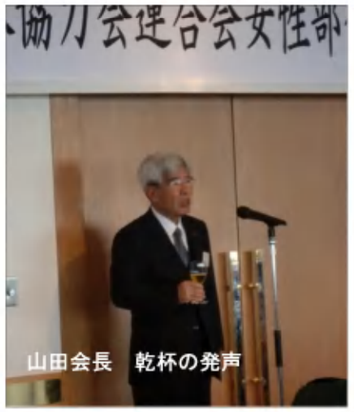
入隊者紹介

第７回県隊友会ゴルフ大会申し込み

◆実施日・場所・集合時間
５月22日（水）丸の内倶楽部　８時
◆競技実施要領
新ペリア方式による個人戦と団体戦（１チーム５名　ベスト３名のネットスコアで順位付け）
◆申し込み先　県本部事務所
◆申込期限・要領
５月10日（金）までに電子メールまたはＦＡＸにて申し込み（電話不可）
支部名、氏名、生年月日、連絡先を記入。
個人・１個支部複数チームでもＯＫ

県自衛隊協力会連合会　女性部会　新年会

連合会女性部会（臼井久美子会長）は、２月２日（土）、千葉市内において新年会を開催した。会には共催４団体（県自衛隊協力会連合会、隊友会、父兄会、援護協力会）の他、千葉市自衛隊協力会、在葉部隊指揮官及び北村新司八街市長他来賓多数が参加、賑やかに懇談し、親睦を深めた。会の前段には、ロンドン五輪女子レスリング金メダリスト小原日登美１陸尉を講師に迎え、講演会が開催された。氏は、自分の生い立ちから、挫折を乗り越え金メダルを獲得するまでの道のりを写真を交えて詳しく話され、金メダリストになって一番よかったことは、スマップに会えたことと会場の笑いをとって講演を締め括った。



山田会長　乾杯の発声

ご夫妻で出席されました。
（ともにレスリングの道で励む。）
小原康司３海曹

臼井会長挨拶

事務局からの連絡事項

◆「日本会議」の署名活動に協力を
現在、「尖閣諸島をはじめ我が領土領海を守るための請願署名」運動を展開中。署名用紙は、日本会議のホームページからダウンロード。なお、署名用紙は必ずＢ４サイズにコピーして使用。
◆隊友会員生産品の販売について
この度、新たに会員の福祉事業として開始するもの。会員の方で、自身で生産・販売し、商品として優良であると共に、一般的価格よりさらに安価に会員に提供でき、売上の一部４～５％を広報等手数料として隊友会に納められるもの（特別会員及び会員が所属する企業等の産物で、上記条件を満たすものも含む。）があり、それを全国の隊友会員に販売したいと思われる方は、支部を通じて県本部まで連絡。じ後、隊友会本部と生産会員とが販売契約を結んだ後、本部が隊友紙、ホームページを通して全国隊友会員へ紹介・広報を行う。販売は、購入希望会員と生産会員との直接取引とし、生産会員は売り上げの一定率を本部に広報等手数料として納める。　本部は、入手した広報等手数料を「紹介県隊友会」及び生産品を購入した会員の所属する県隊友会に一定の率で活動経費として還元。千葉県隊友会では、紹介県に還元される手数料等（本部納入手数料等の60％）をそのまま生産会員紹介支部に交付する。各支部で名産品を産出される会員がおられましたら是非お願いします。支部財政の助けにもなります。
◆在葉部隊の創立記念行事（一般開放）他
●習志野駐屯地　４月７日（日）
●下志津駐屯地（つつじ祭り）　４月29日（月）
●木更津航空祭　５月12日（日）
●マリンフェスタ２０１３（仮称）　５月25日（土）・26日（日）　京葉埠頭（予定）

県隊友会通常総会のお知らせ

千葉県隊友会正会員各位
平成25年度隊友会通常総会は、次により開催することとなったので通知します。
千葉県隊友会　会長　山田　正二
１　日時　４月23日（火）13時30分～14時30分
２　場所　三井ガーデンホテル千葉（千葉市中央区中央１-11-１）
３　参加者　支部長等及び各支部長の指名する代理人（総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。）
４　議案　第１号議案～第５号議案（概要は、以下のとおり。）

【第１号議案】平成24年度事業報告（案）
◆４月23日、県が主催して火箱芳文前陸幕長、佐藤正久参議院議員、熊谷俊人千葉市長、山之上哲郎第１空挺団長及びジャーナリスト井上和彦氏を講師・パネラーに迎え「県民・市民の安心・安全のために」をテーマに防災セミナーを開催した。５００人以上の入場者を得、好評であった。
◆館山、木更津、山武東金、大日精化、四街道及び成田の各支部が支部総会時に部隊長及び有識者を講師に迎え防衛講演会を開催し、会員及び県民の防衛・防災意識の普及高揚に努めた。
◆「災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度」を維持・拡充するとともに各支部は、町内会等が行う防災訓練に機会を求めて参加した。
◆災害ボランティア要員を募集・登録し、災害発生時の支援態勢を整えた。
◆ソマリア沖海賊対処行動に派遣された第１空挺団及び第21航空群の隊員を激励した。
◆県内外各駐屯地・基地等における記念式典及び夏祭り等各種行事延べ17回に会長、副会長、近傍支部長、会員等が参加した。
◆下志津駐屯地における千葉県殉職隊員追悼式に会長・支部長等17人が参列した。
◆入隊予定者激励会を関係諸団体と共催・支援し、入隊予定者２３２人を激励した。
◆下志津駐屯地における千葉県殉職隊員追悼式に会長・支部長等17人が参加した。
◆召集訓練参加予備自衛官に対し、防衛講話を７回実施した。（延べ参加予備自５２４人）
◆千葉県護国神社春季及び秋季大祭に会員有志延べ80人が参加、神社境内の清掃及び交通統制の奉仕を行った。
◆各支部は、地域のスポーツ大会、防犯指導、学童交通指導、清掃奉仕活動及び駐屯地内外の草刈り等に協力した。
◆隊友新聞は、財務基盤改善のため、引続き２カ月に１回（手配り支部は毎月）配付するとともに特別会員に隊友新聞及びディフェンス等を配付した。
◆特別会員、会員家族・知人38人を含む１１０人が参加し、海上自衛隊下総航空基地を研修し、海自航空術科教育等の現状に対する認識を深めた。また、各支部においては、支部計画により、それぞれ部隊研修等を実施した。
◆各支部が実施する総会、防衛講話、隊友新聞・物品販売チラシ手配りに対し助成金を交付した。
◆県隊友会ホームページの掲載記事を月１回を基準に更新し、内容の充実に努めた。
◆千葉地本が実施する退職予定隊員集合教育の場で４回にわたり延べ91人の隊員に隊友会への入会説明を行った。
◆木更津支部が幹事となって「第６回県隊友会ゴルフ大会」を開催し、会員の融和・親睦の実を挙げた。
◆県通常総会は、24年４月23日、「三井ガーデンホテル千葉」で実施した。また支部等総会は、15個支部及び東葛地区支部連合会で実施した。
◆24年７月及び25年３月に理事役会及び支部長等会議を開催し、目的を達成した。

【第２号議案】平成24年度決算（案）（平成25年２月末現在の見込み額）
◆収入＝１千１５１万３千３２円（当年度収入②～⑤＝５３４万１千６３０円）
①前年度繰越額＝６１７万１千４０２円　②会費収入＝３２０万８千円　③寄付金収入＝１２５万７千円　④事業収入＝５０万７千３１２円　⑤雑収入＝３６万９千３１８円
◆支出＝４１７万１千６６２円
①事業費＝１４８万３千８４３円　②管理費＝２６８万７千８１９円　③諸支出＝０円　④予備費＝０円
◆次年度繰越額＝７３４万１千３７０円

【第３号議案】平成25年度事業計画（案）
１　方針
県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業及び収益事業の充実定着化を推進し、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るとともに、会員の福祉と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

2　主要事業

◆県総会に併せ、防衛講演会を開催する。

◆各支部は、支部総会や地域の各種会同等を活用して会員・市民を対象とした防衛・防災講演会を開催する。

◆会員・市民を対象とした関東甲信越静ブロック防衛セミナーを担任・実施する。

◆隊友会本部が実施する防衛セミナー及び特別会員等講演会に積極的に参加する。

◆「災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度」を維持・拡充し、災害情報を速やかに自衛隊に通報し、部隊の迅速な災害派遣に寄与する。

◆県で平素から防災ボランティア組織を整備し、有事、要請に基づいて被災地に赴き、自治体のニーズに応じて被災者の救援活動を行う。

◆自衛隊・自治体の防災訓練への協力、防衛講話、自衛隊員へのカウンセリング等のボランティア事業に参加意志を有する会員を募り、ボランティア人材バンクに登録する。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練に機会を求めて参加（研修）する。

◆入隊者予定者激励会を共催・支援する。

◆千葉県に所在する陸・海・空各自衛隊・要員が国際貢献活動及び大規模災害派遣に従事する場合は、激励・慰問等の支援を実施する。

◆県内の駐屯地・基地等及び部隊等の実施する記念行事等に、より多くの会員が参加するとともに駐屯地・基地諸業務を支援する。

◆予備自衛官招集訓練実施時に理事役又は支部長等の適任者により防衛講話を実施する。。

◆会員である予備自衛官に対し予備自衛官勤続記念き章を贈呈し、表彰を支援する。

◆殉職自衛隊員千葉県追悼式及び各駐屯地・基地で行われる追悼式に参列する。

◆千葉県護国神社で行われる春秋の大祭のご奉仕を積極的に実施する。また千葉県護国神社内「ああ特攻勇士像」慰霊祭に参加する。

◆各支部は、地域の体育大会、市町村・町内会が行う防犯活動、学童交通指導、清掃奉仕活動等に協力する。

◆各種手段を講じ、入会者の拡大及び退会者の抑制を図る。

◆県本部と支部が連携し、会員名簿の整備を促進する。

◆会長及び支部長等の役員は、部隊指揮官及び自治体の長の交代時、適時に表敬訪問し、部隊・自治体との緊密な連携に努める。また部隊長に退職者の隊友会入会をお願いする。

◆防衛関係諸団体との協力関係を緊密に維持し、諸団体が行う社会貢献活動には積極的に協力する。

◆会員（特別会員・市民を含む）は航空自衛隊第44警戒隊を研修し、警戒部隊の現状についての理解を深める。

◆県ホームページ掲載記事の計画的な更新に努め、会員及び県民に対して最新の情報を提供する。

◆入会後10年を経過しかつ75歳未満の終身会員には、会運営協力費（寄付）として年間3千円の納入をお願いする。

◆丸大ハム及びセレモアつくば関連事業を引き続き実施するとともに、本部施策による収益事業の推進に努める。この際、収益の一部を協力支部に還元する。

◆白井支部が幹事支部となり、第7回ゴルフ大会を開催し、会員の親睦を深める。

【第4号議案】平成25年度予算（案）

◆収入＝1千305万9千370円（当年度収入②～⑤＝571万8千円）

①前年度繰越額＝734万1千370円　②会費収入＝340万円　③寄付金収入＝130万円　④事業収入＝81万6千円　⑤雑収入＝20万2千円

◆支出＝654万円

①事業費＝320万円　②管理費＝324万円　③諸支出＝0円　④予備費＝10万円

◆次年度繰越額＝651万9千370円

【第5号議案】役員の交代（4月23日付）（案）

◆退任＝会長　山田正二、副会長　宮地　稔（海）、冨田　稔（陸）、支部長等　工藤愼一（東葛地区支部連合会）、井本敏夫（船橋）、宮本庸治（安房）、柏谷健蔵（木更津）、理事役　河野美登（海）、森　良雄（陸）

◆新任＝会長　冨田　稔、副会長　河野美登（海）、精山英人（陸、事務局長と兼務）、支部長等　豊嶋尉史（東葛地区支部連合会、我孫子支部長と兼務）、森　良雄（船橋）、高橋清三（夷隅）、三好文雄（安房）、林州昭（木更津）、理事役　柏谷健蔵（陸）、森本澄男（陸）、顧問　山田正二、参与　宮地　稔

各地で支部総会開催

安房支部

安房支部（宮本庸治支部長）は、24年7月7日（土）、18時から鴨川市内ホテルにおいて総会・懇親会を実施した。会は、峯岡山OB会と合同で実施し、隊友会からは会員13人が参加、23年度事業実施報告、24年度事業予定及び支部長交代について審議し、承認された。懇親会は19時から開始され、岸川勝行峯岡山分屯基地司令、片桐有而鴨川市長及び亀田郁夫県議会議員他の来賓多数、峯岡山現役隊員14人並びにOB会会員が出席し、賑やかに意見交換を行い親睦を深めた。

四街道支部

四街道支部（中尾英夫支部長）は、1月14日（月）10時30分から四街道文化センターにおいて特別会員3人を含む50人の会員が参加して総会、防衛講演会及び懇親会を開催した。阿部　智地本長　佐渡　斉四街道市長　秋本まさとし衆議院議員　中台良男・岡村泰明両県議会議員、山本裕嗣四街道市議会議長及び富岡幸雄県隊友会顧問が来賓として出席され、県から山田会長及び内田理事役が参加した。防衛講話は、下総教育航空群司令部主席幕僚飯塚一三1海佐を講師に迎え、約1時間に亘ってソマリア沖アデン湾における海賊対処の現状についお話し頂いた。懇親会は富岡顧問の乾杯の挨拶で始まり和気藹々大いに盛り上がり予定時間をオーバーして終了した。

成田支部

成田支部（朝日　章支部長）は、2月17日（日）、成田市内において総会、防衛講演会及び懇親会を行った。総会は、会員19人が参加し、国歌斉唱、物故者に対する黙祷、山田会長、林　幹雄衆議院議員代理、小池正昭県議会議員の祝辞に引続き24年度支部活動、会計・同監査報告、25年度役員の選出及び25年度活動予定について審議し、承認された。防衛講演会は、第1空挺団第1普通科大隊第3中隊長（災害担当隊区成田）を講師に迎え、「東日本大震災における災害派遣の状況・教訓」について現場実行部隊としての講話をして頂き、震災の恐ろしさ、自衛隊の活躍を再認識した。懇親会には、前述の他、成田市自衛隊協力会長　小泉一成成田市長、鈴木英吉富里市議会議員及び川奈勝幸大日精化職域支部長を来賓に迎え、支部長による日本舞踊などの余興も交え大いに親睦を深めた。

25年月1・2月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

ご入会深謝・隊友会の発展にご協力を

【松　戸】　中田　英之（陸）
【船　橋】　井上　英治（陸）
【安　房】　岩波　敏之（海）
【館　山】　渕邊　正（海）
【習志野】　桑田　均（陸）

ジブチ派遣隊員壮行会・帰国慰労会

第1空挺団（前田忠男陸将補）は、1月16日（水）11時から習志野駐屯地内幹部食堂において第12次派遣海賊対処行動航空隊要員として空挺団から派遣される62人の壮行会を行った。会には、団長の他、団内指揮官・幕僚・最先任上級曹長、船橋・八千代・習志野自衛隊協力会、空挺同志会会員が参加した。県からは、森　船橋支部長が会長代理として出席し、激励の挨拶を行うとともに激励品を贈った。派遣隊員は、今後、4ヶ月にわたり、ジブチ共和国内に設けられた固定翼哨戒機P－3C飛行場の警備及び基地業務の任に就く。

また2月2日（土）10時から同じく習志野駐屯地内幹部食堂において、昨年10月以降、4ヶ月の任務を完遂して、無事帰国した第11次派遣隊員62人の帰国歓迎会が行われた。県から山田会長及び森　船橋支部長が参加した。会長は3千4百人の県隊友会員を代表して、任務完遂と無事の帰還を祝うとともに隊員各位は『我々の誇りである』と感謝を申し上げた。さらに派遣部隊及びご家族に対し派遣中のご苦労を労った。